

ラオス人民民主共和国

国の概要	面積	約 236,800 km ²
	人口	約 738 万人 (2021 年, ラオス統計局)
	首都	ビエンチャン
教育行政組織		
国		人民民主共和制
地方		県 (17 県とビエンチャン特別市) と郡 (148)
教育課程基準		教育スポーツ省により教育課程の基準が定められている。
教科書制度		
教科書の定義		教育法では, 教育スポーツ省が定めたカリキュラムを順守することが求められているが, 教科書を使用する義務については書かれていない。
発行主体		国立教育科学研究所
国定, 検定, 認定などの制度		国立教育科学研究所が作成し認定している。
採択・選定などの制度		他に作成している機関がないため, 採択・選定については該当しない。教科書の原案ができると, 教育スポーツ省が組織する Committee for Approval of Curriculum and Instructional Materials (カリキュラム指導教材承認委員会) が開かれる。教科書は基本的に 10 年に一度改訂されることになっている。
使用義務の有無		公立, 私立にかかわらず, 同じ教科書を使う必要がある。
有償・無償		都市部では無料配布されているが, 農村には行き届いていない。
給与・貸与		地方の場合, 教科書が行き届かないため, 市場などで購入するか学校が貸与する。
教科書の特色		近年のものは, ほとんどカラー印刷がなされている。
デジタル教科書の状況		コロナ禍で休校中, 教育省は国営放送局や衛星放送によるテレビ授業 (YouTube や Facebook 等による配信) を実施してたるほか, オンラインラーニングプラットフォームなどを通じた遠隔教育を継続することを奨励した。またオンライン学習ができるようにウェブサイトに E 教科書をアップロードした。さらに現在, ラオス政府は大手通信会社と契約を結びデジタルラーニングを発展させようとしているが, 電気や Wi-fi が届いていない遠隔地におけるデジタルラーニングの実施には大きな課題が残っている。